

2021年10月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年6月11日

上場会社名 ベルグアース株式会社 上場取引所 東
 コード番号 1383 URL <http://www.bergearth.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長兼CEO (氏名) 山口 一彦
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役兼CFO財務経理本部管掌 (氏名) 富永 真哉 (TEL) 0895-20-8231
 四半期報告書提出予定日 2021年6月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年10月期第2四半期の連結業績(2020年11月1日~2021年4月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年10月期第2四半期	2,381	4.9	△142	—	△144	—	46	—
2020年10月期第2四半期	2,268	7.0	△190	—	△198	—	△119	—

(注) 包括利益 2021年10月期第2四半期 35百万円(—%) 2020年10月期第2四半期 △93百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年10月期第2四半期	36.94	—
2020年10月期第2四半期	△94.51	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年10月期第2四半期	5,194	1,160	18.1
2020年10月期	4,662	1,138	19.5

(参考) 自己資本 2021年10月期第2四半期 940百万円 2020年10月期 907百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年10月期	—	0.00	—	10.00	10.00
2021年10月期	—	0.00			
2021年10月期(予想)			—	10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年10月期の連結業績予想(2020年11月1日~2021年10月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,600	7.8	△100	—	△105	—	90	—	70.9

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 一社(社名) 一 除外 一社(社名) 一
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年10月期2Q	1,269,900株	2020年10月期	1,269,900株
② 期末自己株式数	2021年10月期2Q	247株	2020年10月期	247株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2021年10月期2Q	1,269,653株	2020年10月期2Q	1,269,653株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	5
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	5
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	12
(セグメント情報等)	13

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症が東京や大阪の大都市圏を中心に急激に再拡大した影響により、景気の先行きは依然として不透明な状況が続いております。

一方で、医療従事者や高齢者に対する国内でのワクチン接種は順次開始され、大規模接種会場の設置などワクチン接種を加速させるための様々な対策が図られており、今後の経済活動が正常化に向かうことが期待されております。

このような状況の中、当社グループは野菜苗・苗関連事業を中心に受注拡大に向けた営業強化、生産体制や生産工程の見直しを行うことにより製造コストの圧縮を図り、売上の拡大と収益力の強化に努めてまいりました。また、本社農場では閉鎖型育苗施設の新設や育苗施設の改築が行われ2月より稼働を開始したことにより、年間を通じて安定した苗の供給ができる生産体制が可能となりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は2,381,116千円と前年同四半期と比べ112,291千円(4.9%)の増収となりました。損益面につきましては、営業損失142,865千円(前年同四半期は営業損失190,111千円)、経常損失144,683千円(前年同四半期は経常損失198,989千円)、親会社株主に帰属する四半期純利益は、本社農場の設備投資に伴い交付決定をしておりました「産地生産基盤パワーアップ事業費補助金」に基づく補助金収入252,487千円の計上と圧縮積立金の計上及び税効果会計の適用等による法人税等調整額70,092千円を計上したことにより、46,903千円(前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失119,993千円)となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。なお、セグメントの売上高につきましては、外部顧客への売上高を記載しております。

(野菜苗・苗関連事業)

当事業部門におきましては、11～1月の閑散期の受注拡大に向けた営業推進活動により九州、東北、北海道地区の生産者や大規模菜園向けのトマト苗、3～4月の甲信越地区の需要増加によるキュウリ苗の受注拡大や福島県内向けのワクチン接種苗の受注拡大、ホームセンター向けの花苗の受注獲得により売上が増加いたしました。

また、春の家庭園芸の販売促進のため、全国の自社農場及びパートナー農場の苗在庫を野菜苗即納情報としてWEB上に公開する当社の専用サイト「ほうさく.ネット」の活用や新たにクラウド受注・発注システムを利用した「苗ばんく」の運用を開始しました。「苗ばんく」は当社で生産されている苗情報を公開することにより、お客様がその中からご注文いただくことで小口での発注が可能となったことから、小規模農家への支援や家庭菜園向けの販売強化を行ったことが売上増加に繋がりました。

損益面につきましては、本社農場、ベルグ福島の新設設備及び改築により生産備品や減価償却費が増加した一方で、技術指導に当たっている熟練社員を含め、ピーク時に接ぎ木作業に専念させることで生産効率が大きく改善するなど、各農場において生産体制の見直しが行われたことにより労務費の増加が抑えられました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高2,266,282千円と前年同四半期と比べ76,055千円(3.5%)の増収となり、セグメント利益(営業利益)111,022千円と前年同四半期と比べ64,580千円(139.1%)の増益となりました。

品目分類別の売上高は次のとおりであります。

品目分類	売上高 (千円)	前年同四半期比 (%)
トマト苗	667,030	96.5
キュウリ苗	598,147	108.6
ナス苗	220,663	104.8
スイカ苗	298,175	105.8
メロン苗	232,405	101.8
ピーマン類苗 (注1)	117,490	102.1
その他 (注2)	132,370	117.6
合 計	2,266,282	103.5

(注1) ピーマン類として、ピーマン・パプリカ・シシトウ・トウガラシをまとめて表示しています。

(注2) 玉ねぎ苗、葉菜苗、花苗等を含んでおります。

規格分類別の売上高は次のとおりであります。

規格分類	売上高 (千円)	前年同四半期比 (%)
ポット苗 (7.5cm~15cm)	1,264,987	104.3
当社オリジナル(アースストレート苗、ヌードメイク苗、e苗シリーズ、高接ぎハイレッグ苗、ウィルスガード苗)	517,560	99.9
セル苗 (288穴~72穴)	447,455	104.7
その他	36,279	114.6
合 計	2,266,282	103.5

(注) ポット苗は、ポリエチレンのポット(ポリ鉢)で育苗した一般的な苗(当社においては、主に断根接ぎ木苗にて育苗した苗)であり、ポットのサイズが大きくなると苗のサイズも大きくなります。セル苗は、小さな穴が連結した容器(セルトレー)で育苗した苗であり、穴数が増えると苗のサイズが小さくなります。

納品地域分類別の売上高は次のとおりであります。

納品地域分類	売上高 (千円)	前年同四半期比 (%)
北海道・東北	426,451	108.2
関東	876,679	101.3
甲信越	217,853	111.9
中部・北陸	145,971	108.7
近畿・中国	298,370	101.4
四国	110,845	106.8
九州・沖縄	190,110	93.5
合 計	2,266,282	103.5

(注) 静岡は「甲信越」に含めて表示しております。

(農業・園芸用タネ資材販売事業)

当事業部門におきましては、家庭園芸向けに品種提案を行ってきたことによるPB品種種子の販売強化、生産者向けに土壌病害における有効な機能をもつ肥料などの商品提案などの営業活動を行ってまいりました。新型コロナウイルス感染症の再拡大により営業活動やお客様との商談も制限されておりますが、今後も新規顧客への販売推進を行いながら、研究開発部門における商品の効果的な利用方法の発掘やメーカーとの商品開発などを行い商品ラインナップの充実を図り売上拡大に向けて取り組んでまいります。

この結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高44,702千円(前年同四半期比7.7%減)となりました。セグメント利益(営業利益)1,867千円(前年同四半期はセグメント損失2,227千円)となりました。

(海外事業)

当事業部門におきましては、前連結会計年度から新型コロナウイルス感染症の影響により、中国国内での生産及び営業活動が制限されております。この様な厳しい環境に対応する為、鉢花の生産販売事業を中断し、また現地生産者との競争が激しくなってきたことから債権回収を徹底する為、苗及び青果物の販売を抑制しております。一方で、アフターコロナを見据えながら、トマト苗の生産委託先の開拓、連携企業と事業拡大に向けて中国国内を中心とした農業資材(肥料・種子)の市場開拓を行っております。また、韓国では肥料販売の拡大や日本国内向けの種子や苗の輸出に注力してまいります。

この結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高10,619千円(前年同四半期比64.8%減)、セグメント損失(営業損失)18,804千円(前年同四半期はセグメント損失26,650千円)となりました。

(小売事業)

当事業部門におきましては、前連結会計年度より小売事業を行うファンガーデン株式会社を連結範囲に含めました。小売事業は、総合園芸店を2店舗運営しており、店舗及びインターネット販売を通じて家庭園芸を行う一般消費者からプロの生産者向けに、当社が生産した各種苗を始め、地域の生産者に出品していただき、様々な植物や青果物、農業関連資材等を販売しております。また、店舗外営業拡大の為、植物や青果物の予約購買や定期購買にも積極的に取り組んでおり、新規パートナーとの取引が売上の拡大に繋がっております。

この結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高59,511千円、セグメント損失(営業損失)は8,184千円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第2四半期連結会計期間末の資産の合計は、前連結会計年度末と比べ531,729千円(11.4%)増加の5,194,084千円となりました。これは、受取手形及び売掛金の増加379,706千円、有形固定資産取得による増加330,809千円、仕掛品の増加96,557千円等によるものであります。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末の負債の合計は、前連結会計年度末と比べ509,260千円(14.4%)増加の4,033,454千円となりました。これは、長期借入金の増加549,860千円、支払手形及び買掛金の増加85,391千円、未払金の増加36,875千円等によるものであります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末の純資産の合計は、前連結会計年度末と比べ22,468千円(2.0%)増加の1,160,630千円となりました。これは、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上等によるものであります。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物の残高は、前年同四半期末と比べ33,915千円(10.7%)増加の349,413千円となりました。

営業活動によるキャッシュ・フローは、△348,200千円(前年同四半期は△296,634千円の支出)となりました。これは、売上債権の増減額△405,195千円、たな卸資産の増減額△143,047千円、補助金収入△253,125千円、税金等調整前四半期純利益107,934千円、減価償却費114,685千円、未払金の増減額81,816千円等によるものであります。

投資活動によるキャッシュ・フローは、△490,359千円(前年同四半期は△395,340千円の支出)となりました。これは、有形固定資産の取得による支出△474,921千円、無形固定資産の取得による支出△9,019千円等によるものであります。

財務活動によるキャッシュ・フローは、460,413千円(前年同四半期は518,325千円の収入)となりました。これは、短期借入による収入227,930千円、短期借入金の返済による支出△305,860千円、長期借入れによる収入704,000千円、長期借入金の返済による支出△157,159千円等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第2四半期連結累計期間の業績は概ね予定通りに推移しております。そのため、連結業績予想については2020年12月14日の開示時点から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年10月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年4月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	728,771	349,413
受取手形及び売掛金	982,177	1,361,883
電子記録債権	202,772	228,262
商品及び製品	23,575	28,475
仕掛品	62,984	159,542
原材料及び貯蔵品	147,830	190,076
その他	101,050	122,867
貸倒引当金	△4,352	△4,538
流動資産合計	2,244,809	2,435,981
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,261,339	1,682,099
機械及び装置（純額）	213,363	211,834
土地	538,448	575,915
その他（純額）	204,555	78,666
有形固定資産合計	2,217,705	2,548,515
無形固定資産	39,649	47,385
投資その他の資産	160,190	162,202
固定資産合計	2,417,546	2,758,103
資産合計	4,662,355	5,194,084

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年10月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年4月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	498,026	583,417
電子記録債務	365,377	227,043
短期借入金	927,930	850,000
1年内返済予定の長期借入金	287,275	284,255
未払金	276,578	313,454
未払法人税等	6,373	8,789
賞与引当金	55,544	52,606
その他	112,777	78,701
流動負債合計	2,529,882	2,398,267
固定負債		
長期借入金	789,277	1,339,137
資産除去債務	104,380	119,403
その他	100,653	176,645
固定負債合計	994,310	1,635,186
負債合計	3,524,193	4,033,454
純資産の部		
株主資本		
資本金	331,494	331,494
資本剰余金	245,674	245,674
利益剰余金	331,309	365,516
自己株式	△398	△398
株主資本合計	908,080	942,286
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	287	70
為替換算調整勘定	△410	△1,621
その他の包括利益累計額合計	△122	△1,550
新株予約権	50	50
非支配株主持分	230,154	219,844
純資産合計	1,138,162	1,160,630
負債純資産合計	4,662,355	5,194,084

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年11月1日 至 2020年4月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年11月1日 至 2021年4月30日)
売上高	2,268,825	2,381,116
売上原価	1,795,994	1,843,294
売上総利益	472,830	537,822
販売費及び一般管理費	662,941	680,688
営業損失(△)	△190,111	△142,865
営業外収益		
受取利息	2	2
受取配当金	72	615
受取手数料	1,990	1,520
補助金収入	601	638
その他	1,337	1,371
営業外収益合計	4,004	4,148
営業外費用		
支払利息	2,747	4,096
持分法による投資損失	9,858	1,855
その他	275	13
営業外費用合計	12,882	5,966
経常損失(△)	△198,989	△144,683
特別利益		
補助金収入	78,850	252,487
その他	699	220
特別利益合計	79,549	252,707
特別損失		
固定資産除却損	0	89
特別損失合計	0	89
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△119,439	107,934
法人税、住民税及び事業税	2,059	1,289
法人税等調整額	△28,052	70,092
法人税等合計	△25,993	71,382
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△93,446	36,552
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	26,547	△10,350
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△119,993	46,903

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年11月1日 至 2020年4月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年11月1日 至 2021年4月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△93,446	36,552
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△224	△216
為替換算調整勘定	△152	△1,210
その他の包括利益合計	△377	△1,427
四半期包括利益	△93,823	35,124
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△120,371	45,475
非支配株主に係る四半期包括利益	26,547	△10,350

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年11月1日 至 2020年4月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年11月1日 至 2021年4月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△119,439	107,934
減価償却費	90,325	114,685
貸倒引当金の増減額(△は減少)	24	185
賞与引当金の増減額(△は減少)	△1,603	△2,937
受取利息及び受取配当金	△74	△618
補助金収入	△79,451	△253,125
支払利息	2,747	4,096
持分法による投資損益(△は益)	9,858	1,855
固定資産除却損	0	89
売上債権の増減額(△は増加)	△465,328	△405,195
たな卸資産の増減額(△は増加)	△160,302	△143,047
仕入債務の増減額(△は減少)	260,803	△52,943
未払金の増減額(△は減少)	155,325	81,816
未収消費税等の増減額(△は増加)	△18,655	△24,939
その他	△35,254	△30,954
小計	△361,023	△603,097
利息及び配当金の受取額	74	618
利息の支払額	△2,754	△3,936
補助金の受取額	79,451	253,125
法人税等の支払額	△13,074	-
法人税等の還付額	-	4,870
その他	693	220
営業活動によるキャッシュ・フロー	△296,634	△348,200
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△1,600	△2,400
有形固定資産の取得による支出	△353,359	△474,921
無形固定資産の取得による支出	△688	△9,019
投資有価証券の取得による支出	△550	△550
短期貸付けによる支出	△10,000	-
関係会社株式の取得による支出	△1,000	-
関係会社出資金の払込による支出	△24,900	-
保険積立金の積立による支出	△3,264	△3,264
その他	21	△204
投資活動によるキャッシュ・フロー	△395,340	△490,359

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年11月1日 至 2020年4月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年11月1日 至 2021年4月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	300,000	227,930
短期借入金の返済による支出	△50,000	△305,860
長期借入れによる収入	420,000	704,000
長期借入金の返済による支出	△139,216	△157,159
配当金の支払額	△12,210	△12,130
その他	△247	3,633
財務活動によるキャッシュ・フロー	518,325	460,413
現金及び現金同等物に係る換算差額	△152	△1,210
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△173,801	△379,357
現金及び現金同等物の期首残高	489,299	728,771
現金及び現金同等物の四半期末残高	315,498	349,413

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前第2四半期連結累計期間(自 2019年11月1日 至 2020年4月30日)

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	野菜苗・苗 関連事業	農業・園芸用 タネ資材販売 事業	海外事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	2,190,227	48,419	30,178	2,268,825	—	2,268,825
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	3,610	3,610	△3,610	—
計	2,190,227	48,419	33,789	2,272,436	△3,610	2,268,825
セグメント利益又は損 失(△)	46,442	△2,227	△26,650	17,563	△207,675	△190,111

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△207,675千円は、各報告セグメントに配賦していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失(△)と調整を行っております。

当第2四半期連結累計期間(自 2020年11月1日 至 2021年4月30日)

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	野菜苗・苗 関連事業	農業・園芸用 タネ資材販売 事業	海外事業	小売事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	2,266,282	44,702	10,619	59,511	2,381,116	—	2,381,116
セグメント間の内部 売上高又は振替高	2,315	693	4,209	—	7,219	△7,219	—
計	2,268,598	45,396	14,829	59,511	2,388,336	△7,219	2,381,116
セグメント利益又は損 失(△)	111,022	1,867	△18,804	△8,184	85,900	△228,765	△142,865

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△228,765千円は、各報告セグメントに配賦していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失(△)と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

前連結会計年度より、ファンガーデン株式会社が連結子会社となったことに伴い、事業セグメント区分に「小売事業」を新たに追加しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。